



令和 6 年度 施設の自己評価 江東湾岸サテライトスマートナーサリースクール

【認可保育園用】

【記入方法】各項目の総合評価（A、B、C、D）の欄に○をつけてください。

A…理解して十分に取り組んでいる C…理解が不足し十分に取り組んでいない

B…概ね取り組んでいる D…取り組めていない

項目	内容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
園の基本姿勢	全体的な計画は園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて教育、保育のねらい、内容が総合的に展開されるよう編成されている	○				全体的な計画から各年齢の発達過程を踏まえて指導案を作成しヒロコメソッドの実践の確認はリーダー会議、職員会議等で行っている。保育所児童要録の作成を行い、小学校との情報の共有を図っている。
	全体的な計画をより適切なものに改めていくという姿勢を全保育者等が持っている	○				
	指導計画を作成するにあたり、一人ひとりの子どもの発達過程や状況、クラスの実態について職員の共通認識のもとに作成している。	○				
	子どもの発達状況、月や期の目標、教育、保育の実態について職員間で話し合う機会を設けている		○			
	就学先の小学校へ子どもの育ちを支える資料を確実に送付し、情報共有を図っている	○				
子どもの権利の尊重	子どもの権利について職員全体で確認し、十分配慮している	○				子どもの権利について人権擁護の視点からの研修、チェックリストを用いて振り返りを行っている。個人情報保護についても職員会議等で共通理解、周知を行っている。
	保育者は子どもに対して威圧的、命令的、否定的な言葉づかいをしていない		○			
	長期欠席の子どもの状況把握をしている	○				
	子どもの様子で気になることは関係機関に報告している	○				
	個人情報保護について職員全体で確認し、十分配慮している	○				
教育・保育施設ならびに保育者の質の向上	園長は、地域の状況を把握し、目指す教育・保育の方針を理解し職員に伝えている		○			全体的な計画・年間指導計画を元に日々の記録等を用いて、保育を記録し、見直すことで保育士自身の質の向上も図り、次へつなげていく。自己評価に基づいた話し合いは実施しているが一律時期では難しい点があった。保護者アンケートから意見を分析しより満足度を上げていく。
	幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領保育所保育指針を十分に理解し向上心を持って教育・保育に取り組んでいる	○				
	子どもと保護者のおかれた状況を受け止め、保護者とのより良い関係を築き、良好に保つための努力をしている	○				
	社会情勢や環境の変化について常に関心を持ち、時代に適した教育・保育実践のための自己研鑽に努めている	○				
	教育・保育実践を互いに見合う等、学び合いの基盤ができている	○				
	保育者等の自己評価結果に基づいた施設長と職員の話し合いを実施している		○			
	利用者（保護者）の意見を聞き、改善に努めている	○				
教育・保育計画	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）は、園の理念、方針、目標に基づき、子どもの発達過程を踏まえて、教育・保育の「ねらい」「内容」が総合的に展開されるよう編成されている（職員の参画のもとに作成している）	○				子ども一人ひとりの成長過程を把握し、各学年の状況も、職員間で共有するように努めている。就学先へは保育所児童要録を作成し、小学校との情報の共有を図っている。
	全体的な計画（教育課程やその他の計画を含む）をより適切なものに改めていくという姿勢を、全ての保育者が持っている		○			
	指導計画を作成するにあたっては、一人一人の子どもの発達過程や状況、クラスの実態について、職員の共通認識のもとに作成している	○				
	一人一人の子どもの発達状況、月や期の目標、教育・保育の実態について職員間で定期的に話し合う機会を設けている	○				
	就学先の小学校へ、子どもの育ちを支える資料（保育所児童保育要録）を確実に送付し、情報共有を図っている	○				

項目	内容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
環境	保育者は、自身が子どもにとって重要な環境であることを十分に意識し、子どもの人権に配慮した対応をしている	○				人的環境、物的環境は長い時間園で過ごす中で子どもに与える影響は大きいと考える為、今後も見直しをしていく。
環境	各保育室は整理整頓され、雑然としていない		○			
	各保育室には、一人一人の成長発達を考慮した遊びを準備している		○			
愛着形成	子どもの成育歴や心身の発達等を考慮して、主に担当する保育者を決めている（0・1・2歳児）		○			愛着関係が人格形成の基盤となることを意識し保育にあたっている。
	保育者は一人一人の思いを受け止め、共感したり認めたりしながら、信頼関係を築いている	○				
	子ども同士が互いの気持ちや発言を受け入れられるように援助している（3歳児以上）	○				
健康・安全	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるように、食事の提供を含む食育の計画を作成し、保育の計画に位置づけるとともに評価・改善に取り組んでいる	○				緊急時、災害時対応マニュアルはじめアレルギー対応、感染症マニュアル等による研修、周知をおこない園児の健康・安全を図っている。SIDSに関しても寝かせる前に口中内のチェック、体位チェック、定期的に触診も行う記録をとっている。感染症に対して感染拡大防止のために、基本的な手洗い、消毒、換気等感染症防止策を引き続き実施していく。
	アレルギー対応マニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○				
	子ども一人一人の生活リズムや体調を考慮し、睡眠・食事・遊びのバランスをとっている	○				
	定期的に子どもの呼吸・体位・睡眠状態を観察し、睡眠時チェック表に記録している	○				
	子どもが睡眠している時は必ず保育者が保育室にいる	○				
	保健（衛生管理・感染症対策等）に関するマニュアルが整備されており、マニュアルに沿って対応している	○				
	家庭や地域との連携を図りながら子どもの健康増進に取り組んでいる	○				
	施設内外や園外保育先の安全点検を実施してから子どもを遊ばせている	○				
	緊急時にも対応できる職員体制が整っており、役割分担が決まっている	○				
	子どもが危険な場所や災害時の行動の仕方が分かり、安全に配慮して行動できるよう、計画的に教育・保育を実施している	○				
幼保小連携	0・1歳児からの教育・保育の積み重ねが5歳児の姿となり、小学校就学への滑らかな移行につながることを全職員が理解している	○				指導要録の作成・小学校との連携を図っている。
特別支援	記録を基に、どのような場面で子どもが困っているのかを検討し、必要に応じて専門機関（地域の保健センター、臨床心理士等）の助言を受けている	○				臨床心理士の巡回はじめ、外部専門機関とも連携を取りアドバイスを元に、保護者との面談等を必要に応じて行っている。
	子どもの成長発達を保護者と共有する保育参観や個人面談等を設けて、相互理解を図っている	○				
と連携した地域子育て支援	第三者評価、利用者アンケートに取り組み、その結果を保護者に伝え、教育・保育の改善に活かしている		○			今年度、第三者評価は受審していないが、各行事及び年度末に保護者アンケートをとり、より良い園運営となるよう取り組んでいる。
	地域で行われている子育て支援施策を理解し、必要とする家庭と関係機関につなげ、子育て支援事業の情報を積極的に発信している		○			